

都市政策ゼミナール

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 明治大学政経資料センター 公開日: 2011-04-11 キーワード: 作成者: 中邨, 章 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/10359

都市政策ゼミナール

中 邨 章

演習を担当しはじめてから足かけ7年になる。その間、私はゼミをアメリカ方式で進めてきた。というと大げさに聞えるが、要点は宿題につぐ宿題を課すことである。その一部を紹介すると、まず学期はじめに私が1年分の必読文献リストを配布するが、学生諸君はこのリストに準じて毎週レポートを提出する。テーマは都市計画、市民参加、行政国家などである。夏休みに入ると、ゼミ員各自がそれぞれの居住地について、その歴史的背景や政治経済構造を調査し、結果をゼミ合宿で公表する。さらに4年生には“卒論”がある。その発表会は1月の冒頭、3・4年の合同ゼミで実施している。

相当ハードなスケジュールであるため、当初、多数の落伍者が出るものと予想していた。ところが、この7年間に脱落者が5人にもならなかったことは、正直、私の方が驚いている。その結果、採点を要するレポートは常時、私の机上に山積し“苦戦”を強いられている。